

谷村 成基 町長

ありがとうございますございました

定例会最終日の23日、
谷村町長から、退任の
あいさつがあった。

感謝と送別のことば

議長 宮川 一美

退任にあたり、宮川議長から谷村町長へ
感謝と送別のことばを贈られた。

谷村町長におかれまし

ては、神戸町に奉職以来、
約半世紀にわたり、その
責を全うされ、神戸町の
発展のために、ご尽力を
いただきました。

この間、企画課長、総
務課長を、その後、総務
部長を歴任され、平成20
年には、その人格と、リー
ダーシップを見込まれ、
町長の片腕として、事務
方のトップである、副町
長に就任されました。

平成22年には、吉田町
政を継いで、議会をはじめ
め、町民から深い信頼を
受けられまして、第5代
神戸町長に就任されまし
た。

以来、3期12年にわた
り、その卓越した手腕と
識見を持って、災害に強

いまちづくりをはじめ、
幼児・学校教育環境の整
備と充実、生涯スポーツ
の振興、切れ目のない、
子育て支援や高齢者福祉
の推進、社会資本・住環
境の整備など、あらゆる
面の事業を手がけられ、
神戸町行政の発展に尽く
されました。

心より感謝を申し上げ
る次第でございます。

今後とも健康に、十分
ご留意いただき、本町発
展のため、なお一層のご
指導、ご協力を賜ります
よう、心からお願い申し
上げ、意を尽くせません
が、感謝と送別の言葉と
させていただきます。

谷村町長、長い間、誠
にありがとうございます
た。



谷村 成基 町長

私は、平成22年7月に、
前町長より引き継ぎ、第
5代神戸町長に就任をさ
せていただきました。

力不足で、浅学非才の
身である私が、3期12年
間にわたり、多くの皆様
方にお支えいただきなが
ら、「誠実」、「堅実」、「着
実」を信念といたしまし
て、職員と一丸となつて、
町政発展のため、誠心誠
意努めてまいりました。

お陰をもちまして、公

約としておりました各分
野において、具体的な事
業や施策が実施でき、無
事にその職責を果たすこ
とができたのではないかと、
思っております。

大過なく町政を進めて
くることができましたこと
に対し、今はただただ
安堵と、自分なりに満足
している次第であります。

これも一重に、議員皆
様からの格別なるご指導
やお力添えを賜ったこと、

さらには町民の皆様方か
らのご理解と温かいご支
援をいただいたお陰であ
ると、心から厚くお礼申
し上げます。

今後は、新しいリー
ダーである新町長のもと、
町及び町議会、さらには
町民の皆様が一丸となつ
て、本町の地域特性を生
かした、魅力あるまちづ
くりを進めていただけれ
ばと、考えております。

議員の皆様方には、今
後も、なお一層、ご活躍く
ださることを心より念じ
ておりますとともに、神
戸町のさらなる発展のた
めご尽力いただきますよ
う、お願い申し上げます。
第5期でございます。

退任後は、一町民とし
て、神戸町を見守り、ま
た、微力ではありますが、
神戸町を応援してまいり
たいと考えております。

私は、昭和49年4月に

神戸町役場に奉職し、以
来職員として34年、副町
長として2年、町長とし
て3期12年、通算します
と48年間、約半世紀にわ
たり、神戸町政一筋に携
わることができ、神戸町
の今日までの発展を見届
けることができまして、
本当に幸せ者でございま
す。

この間、議員各位を
はじめとする町民の皆様
方、そして、諸先輩方か
らの心温まるご厚情とご
支援、そして町幹部や職
員の皆さんからの力強い
後押しを受けましたこと、
改めて、衷心より厚く感
謝申し上げます。

本当に長い間、ありが
とございました。

議会の動き (5月~7月)

5月

- 18日(水) 議会運営委員会
- 19日(木) 全員協議会
議会改革特別委員会

6月

- 13日(月) 第4回定例会開会
- 15日(水) 民生文教常任委員会
- 16日(木) 総務建設常任委員会
- 22日(水) 第4回定例会再開(一般質問)
- 23日(木) 第4回定例会再開(議案審議)
全員協議会
議会改革特別委員会

7月

- 12日(火) 広報編集特別委員会
- 13日(水) 議会運営委員会
- 20日(水) 広報編集特別委員会
- 21日(木) 第5回臨時会
全員協議会
議会改革特別委員会



9月定例会のお知らせ

☆会期の日程

- 9月5日(月) 開会、議案の説明
- 9月14日(水) 一般質問
- 9月15日(木) 議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から



不動明王と三十六童子像

表紙の写真は、神戸町丈六道の不動堂です。こちらの建物は、弘仁八年(八一七年)に伝教大師が日吉神社を創建されたとき、鬼門除けとしてお堂を建て不動明王をお祭りになったと伝えられています。一丈六尺四面の不動堂を丈六堂と呼び、これが丈六道に転化し、地名の由来となりました。昔は、丈六道の所有でしたが、元禄十五年(二七〇二年)より下宮勸学院の隠居寺となり、現在は個人所有となっています。

ふるさと再発見

宝暦八年(一七五八年)に丈六道村の村民が不動堂のお扉を開き、不動明王に雨ごいをしたため、古くから村人に「雨ごい不動さん」と言われています。お堂には、お不動さんの両脇にその眷属の三十六童子像が並んでいます。童子像は雨ごいのかんた村が、お礼のために献納したものです。

古来よりお不動さんは、八月二十八日の例祭日以外はお扉を開かないことになっていたそうですが、現在は毎月二十八日にお扉を開かれており、丈六道のお不動さんとして親しまれています。

※ふるさと百話続「雨ごい不動」より



消毒液による手指の消毒及びマスクの着用にご協力ください